



2024年10月15日

各位

会社名 オープングループ株式会社  
代表者名 代表取締役高橋知道  
(コード番号: 6572 東証プライム)  
問合せ先取締役松井哲史  
(TEL 03-5157-6388)

**2025年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績の差異、  
営業外費用及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ**

2024年4月12日付で公表しました2025年2月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と本日公表の実績の間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2025年2月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と実績の差異(2024年3月1日~2024年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,440	百万円 230	百万円 189	百万円 130	円 銭 2.14
実績(B)	3,466	279	△0	251	4.14
増減額(B-A)	26	49	△189	121	-
増減率(%)	0.8	21.4	-	93.2	-
(参考) 前期実績 (2024年2月期 第2四半期)	2,913	190	49	304	5.02

2. 差異の理由

売上高につきましては、インテリジェントオートメーション事業、アドオートメーション事業ともに堅調に推移したことで計画値を上回る結果となりました。利益面におきましては、販売管理費予算の一部未消化により、営業利益は従来予想を上回る結果となりました。

一方で、持分法投資損失239百万円を計上したことで、経常利益は従来予想を下回る結果となりました。また、連結子会社の合併及びRoboRobo事業のコンプライアンスサービスの黒字化により法人税等調整額(法人税等)を計上したことで、親会社株主に帰属する中間純利益は従来予想を上回る結果となりました。

### 3. 営業外費用及び法人税等調整額の計上並びにそれらの内容

#### (1) 持分法による投資損失

当社の持分法適用会社である A PLUS JAPAN 株式会社の決算報告に基づき、持分法による投資損失 239 百万円を営業外費用として計上することになりました。

#### (2) 法人税等調整額

当社連結子会社において、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額（益）323 百万円を計上することとなりました。法人税等調整額は法人税等に含めて計上され、法人税等（益）263 百万円となりました。

以 上